

7 / 22 (金) の発表

はじめよう、つづけよう。

「新北海道スタイル」



～新型コロナウイルスに強い北海道をつくる～ 新北海道スタイル

報道発表資料の配信日時 7月22日(金) 15時00分

発表項目 (行事名)	令和4年度(2022年度)農作物生育状況調査 (7月15日現在)の公表について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>空知管内における7月15日現在の農作物生育状況調査の結果について、次のとおり取りまとめたので、お知らせします。</p> <p><b>1 農作物生育状況・農作業状況</b></p> <p>(1) 対象作物          水稲、秋まき小麦、大豆、玉ねぎ、りんご</p> <p>(2) 調査項目          生育や農作業の遅速日数と進捗率</p> <p>(3) 生育・農作業状況          別紙「農作物生育状況」のとおり</p> <p><b>2 公表ホームページ</b></p> <p>(1) 空知総合振興局産業振興部農務課  <a href="https://www.sorachi.pref.hokkaido.lg.jp/ss/num/sakkyou/">https://www.sorachi.pref.hokkaido.lg.jp/ss/num/sakkyou/</a></p> <p>(2) 農政部生産振興局技術普及課  <a href="http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ns/gjf/seiiku/index.html">http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ns/gjf/seiiku/index.html</a></p> <p><b>3 次回の公表予定</b>          次回の公表は8月2日(火)の予定です。</p>		
参考			

報道(取材)に当たってのお願い			
他のクラブとの関係	同時配付		
	同時レク		

担当 (連絡先)	空知総合振興局産業振興部農務課長(TEL:0126-20-0166) 農政係(TEL:0126-20-0080)		
-------------	---	--	--

# 農作物生育状況

－ 7月15日現在 －

令和4年(2022年)7月22日  
北海道空知総合振興局  
産業振興部 農務課

【気象概況:岩見沢】(7月1日～7月15日)

この期間は、高気圧の張り出しの中で晴れた日が多かったが、上空の寒気の影響などで雨の降った日もあった。

<アメダスデータ(観測地点:岩見沢)>

期間	項目	単位	平年	本年	平年差又は平年比
7月前半	平均気温	℃	18.6	22.6	4.0℃
	日照時間	時間	76.4	80.2	105%
	降水量	mm	49.2	10.5	21%

【農作物の生育及び農作業状況】

- ・水 稲：生育は平年並である。
- ・秋まき小麦：生育は平年並である。
- ・大 豆：生育は平年並である。
- ・たまねぎ：生育は平年並である。
- ・りんご：生育はやや早く進んでいる。

作物	生育状況及び農作業状況						生育期節	遅速日数	摘 要
	生育概況								
	区分	単位	平年	本年	平年差	評価			
水 稲	草丈	cm	62.8	72.2	9.4	長	止葉	早2日	止葉期 本年:7/15 (平年:7/17)
	葉数	枚	10.4	11.0	0.6	やや多			
	茎数	本/m <sup>2</sup>	654.8	619.4	-35.4	やや少			
秋まき小麦	稈長	cm	79.2	79.3	0.1	平年並	成熟	早2日	成熟期 本年:7/14 (平年:7/16)
	穂数	本/m <sup>2</sup>	761.0	794.0	33	平年並			
	穂長	cm	9.3	9.0	-0.3	平年並			
大豆	草丈	cm	38.9	38.5	-0.4	平年並	開花	早1日	開花始 本年:7/13 (平年:7/14) 開花期 本年:7/15 (平年:7/16)
	葉数	枚	6.0	6.4	0.4	やや多			
	栽植本数	本/10a	20,565	21,125	560	平年並			
たまねぎ	草丈	cm	82.0	84.4	2.4	平年並	球肥大	早1日	球肥大始 本年:7/3 (平年:7/3) 球肥大期 本年:7/8 (平年:7/7)
	葉数	枚	8.8	8.4	-0.4	平年並			
	葉鞘径	mm	20.4	21.1	0.7	平年並			
	球径	cm	5.0	5.2	0.2	平年並			
りんご	体積	cm <sup>3</sup>	43.5	54.1	10.6	大	—	早4日	
	摘果	%	—	80	—	—	—	早1日	

参考 ※1 この調査は、空知農業改良普及センターが地域別に調査を実施し、空知総合振興局産業振興部農務課が取りまとめたものです。

※2 「〇〇始」は全体の5%、「〇〇期」は全体の40～50%、「〇〇終」は全体の90%程度に達した日です。  
ただし、水稻の「止葉期」は、全茎の40～50%の止葉が展開した日、秋まき小麦の「成熟期」は、子実水分が40%となった日、たまねぎの「球肥大始」は最大球径が葉鞘径の2倍に肥大した個体が全体の5%になった日、「球肥大期」は最大球径が葉鞘径の2倍に肥大した個体が全体の40～50%になった日です。

※3 遅速日数は、±2日までが「平年並」、±3～4日が「やや早い(遅い)」、±5日以上が「早い(遅い)」としています。

※4 次回(8月1日現在)の公表は、8月2日(火)15時の予定です。